

平成14年度

# 特別案件等調査報告書

国別特設「中近東・東欧地域エネルギー管理新設研修コース」

平成14年11月

国際協力事業団  
九州国際センター

九州セ

J R

02-02

## 序 文

本報告書は、国際協力事業団が、北九州国際技術協力協会及び各研修受入機関の協力のもと、平成元年度に開始された集団研修「エネルギー管理」コースを、平成14年度から国別（地域別）特設研修に移行することから、事前調査を目的として、平成14年9月2日から平成14年9月14日までの13日間、チュニジア及びルーマニアへ派遣された特別案件等調査団の調査結果をまとめたものです。

昨今、エネルギーの消費量は増加の一途をたどりつつありますが、環境を意識したエネルギー管理は、今後非常に重要な課題となっていきます。対象地域を限定したことで、過去の集団研修よりも、さらに効果的な研修となることを期待しておりますが、本報告書が、対象国の当該研修分野における現状や今後の課題を理解する一歩となると共に、より一層の改善につき関係各位の更なるご支援を賜れば幸いです。

最後に、特別案件調査及び本報告書のとりまとめにご尽力を賜った団員各位に感謝の意を表するとともに、本調査にあたり多大なるご協力をいただいた在外公館、各国政府機関、帰国研修員及びその所属先並びにその他関係各位に対し、深甚の謝意を表する次第です。

平成14年11月

国際協力事業団

九州国際センター

所長 山口 三郎



チュニジア  
テュニス国際環境技術センター（CITET）訪問



チュニジア  
ラディス火力発電所視察（写真は中央監視室）



チュニジア  
再生可能エネルギー公社訪問



チュニジア  
電力ガス会社（STEG）訪問



チュニジア  
帰国研修員との意見交換



ルーマニア  
省エネルギー機構（ARCE）帰国研修員との意見交換



ルーマニア

電力・熱管理公社（ANRE）訪問（写真右の女性は帰国研修員）



ルーマニア

チェルナボダ原子力発電所視察

# 目次

I . 調査団派遣概要	
1 調査団派遣の経緯と目的	1
2 調査団員の構成	2
3 調査方法	2
4 調査日程	3
5 主要訪問先及び面談者	4
II . テュニジアにおける調査結果	
1 テュニジアの概要	7
2 当該分野の現状と課題	8
III . ルーマニアにおける調査結果	
1 ルーマニアの概要	10
2 当該分野の現状と問題点	11
IV . 調査総括と研修コースへの提言	14

## 添付資料

- 1 平成14年度国別特設「中近東・東欧地域エネルギー管理」研修コース実施要領(案)
- 2 平成14年度ジェネラル・インフォメーション(G.I.)
- 3 帰国研修員リスト
- 4 欧州連合(EU)関連資料
- 5 テュニジア、ルーマニア、日本の主要項目比較表
- 6 テュニジア国エネルギー源表示地図
- 7 ルーマニア国電力配電図